
綿

音猫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

綿

【コード】

N6022K

【作者名】

音猫

【あらすじ】

ふと、肩に小さな白い綿が付いているのに気が付いた

ふと、肩に小さな白い綿が付いているのに気が付いた

私はそれを優しくつまみ、手の平に乗せる

君は何処から来たの？

私は問いかける

と、その時突然強い風が吹いた

髪がなびく

草が揺れる

風がやみ、再び私は目を開いた

手の平の上には何も乗っていなかった

私は急いで上を見上げる

しかしそこには、青い空と白い入道雲が広がるだけだった

しばらくの間、私はあの白く小さな綿を探した

うるさく鳴く蝉の中、広い広い空の下で、小さな小さな綿を探して

いた

きっと、あの小さな白い綿は雲になりたかったのではないだろうか

地面からいつも眺めていたのではないだろうか

『がんばってえ！』

私は空に向かって叫んだ

綿に向かって

そして私に向かって

(後書き)

自然が大好きです。

時には優しく、時には厳しい自然は、私達人間の喜怒哀楽よりも激しく、偉いものです……

なんて、格好つけてみました(笑)

どんなものでも構いません。感想等をあつかましいですが、書いて頂ければ泣いて喜びます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6022k/>

綿

2011年1月8日21時11分発行